

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	40	-	7	事務事業名	農業振興事務事業	細事務事業名	人・農地プラン、農地中間管理事務事業	公的関与	9	シート作成日	平成31年6月14日			
	課名	農政課			グループ	農政	担当課長名	小笠原己喜雄		シート作成者名	服部一宏				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	政策目標	5 豊かで活かに満ちたやとみ				実施計画	事業の開始・終了							
		施策項目	農水産業の振興				<input type="radio"/> 1 該当	年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	多様な担い手の育成・確保				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	弥富市補助金等交付規則						
	個別計画														
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)									
		農業者				<p>国では、目標とする『持続可能な力強い農業』の実現に向けて、農地集積による大規模化と農地の流動化を推進しており、目安として土地利用型農業について、20~30歳をオペレーターにまとめることとしています。また、『持続可能な力強い農業』目指す上で課題となる農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等といった「人と農地の問題」の解決に向け、農地中間管理事業による農地の集積等を行い、5年後10年後に誰がどのように農地を利用するかをプラン作成時から5年後を基準として計画を取りまとめる。</p>									
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「弥富市人・農地プラン」の作成(原案作成→合意形成→検討会→市の決定→告示) ・農地の出し手に対する機構集積協力金 ・農業用機械の導入に対する支援(経営体育成支援事業) 														
成果指標	①	指標名							指標名						
		指標設定の考え方	事務の性質上指標設定になじみません。						指標設定の考え方						
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度			②	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度			
	実績		実績		目標 ※	目標		実績		実績		目標 ※	目標		
	目標		目標 ※					目標		目標 ※					
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額			
		国・県支出金		19,761 千円				7,904 千円				千円			
		地方債		千円				千円				千円			
		その他特定財源		138 千円				94 千円				千円			
		一般財源		55 千円				414 千円				千円			
	計(A)		19,954 千円				8,412 千円				0 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.450 人				0.450 人				人			
				3,105 千円				3,105 千円				0 千円			
		臨時職員工数・経費		人	0 千円			人	0 千円			人	0 千円		
全体事業費(A+B)		23,059 千円				11,517 千円				0 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等といった「人と農地の問題」を解決するため必要があります。		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	農地の利用集積により、農地の受け手となる担い手の確保が出来ず。		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		概ね達成しています。		<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない				<input type="radio"/>	あまり上がっていない			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している				<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している				<input type="radio"/>	十分達成している			
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	特に効率性を図ることはありません。		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 4 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等といった「人と農地の問題」を解決するため必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	補助金等のPRを充実させます。 農地の面的集積を推進することにより耕作放棄地を解消します。 県と協力のもと新規就農者の育成を図ります。					集落営農組織及び地域での取り組みが定着するよう関係機関と連携のもと事業の推進体制を確立する必要があります。								
備考															